

令和7年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部	中学部		学 年	3年	
教科等名	国語		グループ名	B組	
ねらい	・日常生活や社会生活に必要な「読む」「書く」「聞く」「話す」の基礎的な力を伸ばす。 ・筋道立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、自分の思いや考えをまとめることができる。 ・言葉がもつ良さに気付くとともに、図書に親しみ、国語で考えたり伝えあったりしようとする態度を養う。				
担当教員	○宇都宮 彩香 海老水 皓翔 田宮 美貴				
予定授業時数	36.5				
使用教科書	東京書籍「国語☆☆☆☆」「国語☆☆☆☆☆」				
月	単元(題材)名	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)	指導の工夫
通年	・伝えよう 聞こう ・休日や行事の話を伝えよう ・友達の話を知ろう	○	・話の要約 ・聞く、話す、発表する、質問する ・丁寧な言葉	・話す事柄を思い浮かべ、伝えたいことを決める。 ・内容が伝わりやすいよう、伝える順序などを考える。 ・相手の話に関心をもち、分かったことや感じたことを伝え合う。	・身体の使い方や正しい姿勢を意識するための体操を行う。 ・発表の項目に沿って行う。 ・質問を受け付け、終了後は全員で拍手をする。
通年	文字を書こう ・直線や曲線を書こう ・平仮名を書こう ・片仮名を書こう ・漢字に親しもう	○	・手指の運動筆記練習 ・平仮名の練習 ・片仮名の練習 ・漢字の練習	・正しい姿勢で、筆記具の正しい持ち方を身に付ける。 ・字形や筆順に気を付けて書く。 ・丁寧になぞり書きすることができる。 ・すすんで練習課題に取り組むことができる。	・正しい筆記用具の持ち方を確認する。 ・なぞり書き⇒視写(見本を近くに→遠くに)⇒白紙、と、段階を工夫する。 ・個別の課題に沿ったワークシートで行う。 ・実態によって、タブレット端末のアプリを使用して、興味をもって学習に取り組めるようにする。
4 5 6 7 10 11 12	いろいろな言葉を覚えよう ・名詞 ・動詞、助詞 ・形容詞、形容動詞 ・丁寧な言葉		・読書 ・様子の言葉 ・物の名前 ・挨拶、丁寧な言葉 ・ことわざや慣用句 ・詩 ・辞書の利用	・正しく理解したり、豊かに表現したりするために、必要な語句の量を増やす。 ・相手や目的に応じた話し方で話す。 ・日常的に使う丁寧な表現を覚え、意識して使うことができる。	・カルタなど興味関心のある題材を組み込み、意欲を引き出す。 ・他の時間にも般化させ、日常生活に生かせるようにする。
7 9 1 2 3	読書しよう	○	・図書館の利用 ・読書 ・アプリ図書	・様々な表現を知る。 ・読書の楽しさを知り、日常生活ですすんで本を読もうとする。 ・読書をして、得た語彙を使用して、文章を書くことができる。	・読書をする環境を整える。 ・図書室の使い方について、視覚的に指導する。 ・実態に応じて、絵本を読む。 ・タブレット端末の読み聞かせ動画も利用する。

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。

令和7年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部	中学部	学 年	3年		
教科等名	国語	グループ名	C組		
ねらい	・日常生活や社会生活に必要な「読む」「書く」「聞く」「話す」の基礎的な力を伸ばす。 ・筋道立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、自分の思いや考えをまとめることができる。 ・言葉がもつ良さに気付くとともに、図書に親しみ、国語で考えたり伝えあったりしようとする態度を養う。				
担当教員	○細谷 慶明 海老水 翔皓				
予定授業時数	36.5				
使用教科書	東京書籍「国語☆☆☆☆」「国語☆☆☆☆☆」				
月	単元(題材)名	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)	指導の工夫
通年	・伝えよう 聞こう ・休日や行事の話を伝えよう ・友達の話を聞こう	○	・話の要約 ・聞く、話す、発表する、質問する ・丁寧な言葉	・話す事柄を思い浮かべ、伝えたいことを決める。 ・内容が伝わりやすいよう、伝える順序などを考える。 ・相手の話に関心をもち、分かったことや感じたことを伝え合う。	・身体の使い方や正しい姿勢を意識するための体操を行う。 ・発表の項目に沿って行う。 ・質問を受け付け、終了後は全員で拍手をする。
通年	文字を書こう ・直線や曲線を書こう ・平仮名を書こう ・片仮名を書こう ・漢字に親しもう	○	・手指の運動筆記練習 ・平仮名の練習 ・片仮名の練習 ・漢字の練習	・正しい姿勢で、筆記具の正しい持ち方を身に付ける。 ・字形や筆順に気を付けて書く。 ・丁寧になぞり書きすることができる。 ・すすんで練習課題に取り組むことができる。	・正しい筆記用具の持ち方を確認する。 ・なぞり書き⇒視写(見本を近くに→遠くに)⇒白紙、と、段階を工夫する。 ・個別の課題に沿ったワークシートで行う。 ・実態によって、タブレット端末のアプリを使用して、興味をもって学習に取り組めるようにする。
4 5 6 7 10 11 12	いろいろな言葉を覚えよう ・名詞 ・動詞、助詞 ・形容詞、形容動詞 ・丁寧な言葉		・読書 ・様子の言葉 ・物の名前 ・挨拶、丁寧な言葉 ・ことわざや慣用句 ・詩 ・辞書の利用	・正しく理解したり、豊かに表現したりするために、必要な語句の量を増やす。 ・相手や目的に応じた話し方で話す。 ・日常的に使う丁寧な表現を覚え、意識して使うことができる。	・カルタなど興味関心のある題材を組み込み、意欲を引き出す。 ・他の時間にも般化させ、日常生活に生かせるようにする。
7 9 1 2 3	読書しよう	○	・図書館の利用 ・読書 ・アプリ図書	・様々な表現を知る。 ・読書の楽しさを知り、日常生活ですすんで本を読もうとする。 ・読書をして、得た語彙を使用して、文章を書くことができる。	・読書をする環境を整える。 ・図書室の使い方について、視覚的に指導する。 ・実態に応じて、絵本を読む。 ・タブレット端末の読み聞かせ動画も利用する。

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。

令和7年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部	中学部		学 年	3年	
教科等名	国語		グループ名	D組	
ねらい	・日常生活や社会生活に必要な「読む」「書く」「聞く」「話す」の基礎的な力を伸ばす。 ・筋道立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、自分の思いや考えをまとめることができる。 ・言葉がもつ良さに気付くとともに、図書に親しみ、国語で考えたり伝えあったりしようとする態度を養う。				
担当教員	○桶田 宏樹 小山 佳子				
予定授業時数	36.5				
使用教科書	東京書籍「国語☆☆☆☆」「国語☆☆☆☆☆」				
月	単元(題材)名	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)	指導の工夫
通年	・伝えよう 聞こう ・休日や行事の話を伝えよう ・友達の話を聞こう	○	・話の要約 ・聞く、話す、発表する、質問する ・丁寧な言葉	・話す事柄を思い浮かべ、伝えたいことを決める。 ・内容が伝わりやすいよう、伝える順序などを考える。 ・相手の話に関心をもち、分かったことや感じたことを伝え合う。	・身体の使い方や正しい姿勢を意識するための体操を行う。 ・発表の項目に沿って行う。 ・質問を受け付け、終了後は全員で拍手をする。
通年	文字を書こう ・直線や曲線を書こう ・平仮名を書こう ・片仮名を書こう ・漢字に親しもう	○	・手指の運動筆記練習 ・平仮名の練習 ・片仮名の練習 ・漢字の練習	・正しい姿勢で、筆記具の正しい持ち方を身に付ける。 ・字形や筆順に気を付けて書く。 ・丁寧に なぞり書き することができる。 ・すすんで練習課題に取り組むことができる。	・正しい筆記用具の持ち方を確認する。 ・なぞり書き⇒視写(見本を近くに→遠くに)⇒白紙、と、段階を工夫する。 ・個別の課題に沿ったワークシートで行う。 ・実態によって、タブレット端末のアプリを使用して、興味をもって学習に取り組めるようにする。
4 5 6 7 10 11 12	いろいろな言葉を覚えよう ・名詞 ・動詞、助詞 ・形容詞、形容動詞 ・丁寧な言葉		・読書 ・様子の言葉 ・物の名前 ・挨拶、丁寧な言葉 ・ことわざや慣用句 ・詩 ・辞書の利用	・正しく理解したり、豊かに表現したりするために、必要な語句の量を増やす。 ・相手や目的に応じた話し方で話す。 ・日常的に使う丁寧な表現を覚え、意識して使うことができる。	・カルタなど興味、関心のある題材を組み込み、意欲を引き出す。 ・他の時間にも般化させ、日常生活に生かせるようにする。
7 9 1 2 3	読書しよう	○	・図書館の利用 ・読書 ・アプリ図書	・様々な表現を知る。 ・読書の楽しさを知り、日常生活ですすんで本を読もうとする。 ・読書をして、得た語彙を使用して、文章を書くことができる。	・読書をする環境を整える。 ・図書室の使い方について、視覚的に指導する。 ・実態に応じて、絵本を読む。 ・タブレット端末の読み聞かせ動画も利用する。

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。

令和7年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部		中学部		学 年		3年	
教科等名		国語		グループ名		E組	
ねらい		・日常生活や社会生活に必要な「読む」「書く」「聞く」「話す」の基礎的な力を伸ばす。 ・筋道立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、自分の思いや考えをまとめることができる。 ・言葉がもつ良さに気付くとともに、図書に親しみ、国語で考えたり伝えあったりしようとする態度を養う。					
担当教員		○三富 武					
予定授業時数		36.5					
使用教科書		東京書籍「国語☆☆☆☆」					
月	単元(題材)名	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)		指導の工夫	
通年	・伝えよう 聞こう ・休日や行事の話を伝えよう ・友達の話を知ろう	○	・話の要約 ・聞く、話す、発表する、質問する ・丁寧な言葉	・話す事柄を思い浮かべ、伝えたいことを決める。 ・内容が伝わりやすいよう、伝える順序などを考える。 ・相手の話に関心を持ち、分かったことや感じたことを伝え合う。		・身体の使い方や正しい姿勢を意識するための体操を行う。 ・発表の項目に沿って行う。 ・質問を受け付け、終了後は全員で拍手をする。	
通年	文字を書こう ・直線や曲線を書こう ・平仮名を書こう ・片仮名を書こう ・漢字に親しもう	○	・手指の運動筆記練習 ・平仮名の練習 ・片仮名の練習 ・漢字の練習	・正しい姿勢で、筆記具の正しい持ち方を身に付ける。 ・字形や筆順に気を付けて書く。 ・丁寧になぞり書きすることができる。 ・すすんで練習課題に取り組むことができる。		・正しい筆記用具の持ち方を確認する。 ・なぞり書き⇒視写(見本を近くに→遠くに)⇒白紙、と、段階を工夫する。 ・個別の課題に沿ったワークシートで行う。 ・実態によって、タブレット端末のアプリを使用して、興味をもって学習に取り組めるようにする。	
4 5 6 7 10 11 12	いろいろな言葉を覚えよう ・名詞 ・動詞、助詞 ・形容詞、形容動詞 ・丁寧な言葉		・読書 ・様子の言葉 ・物の名前 ・挨拶、丁寧な言葉 ・ことわざや慣用句 ・詩 ・辞書の利用	・正しく理解したり、豊かに表現したりするために、必要な語句の量を増やす。 ・相手や目的に応じた話し方で話す。 ・日常的に使う丁寧な表現を覚え、意識して使うことができる。		・カルタなど興味・関心のある題材を組み込み、意欲を引き出す。 ・他の時間にも般化させ、日常生活に生かせるようにする。	
7 9 1 2 3	読書しよう	○	・図書館の利用 ・読書 ・アプリ図書	・様々な表現を知る。 ・読書の楽しさを知り、日常生活ですすんで本を読もうとする。 ・読書をして、得た語彙を使用して、文章を書くことができる。		・読書をする環境を整える。 ・図書室の使い方について、視覚的に指導する。 ・実態に応じて、絵本を読む。 ・タブレット端末の読み聞かせ動画も利用する。	

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。